

広領域連携型基幹研究プロジェクト
日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築

中間評価報告書（第2次評価）

1. 総合評価

順調に進んでおり、質的・量的側面から特筆すべき成果が見られる

2. 総合所見及び特記事項

（総合所見）

地域文化のさまざまな形態の歴史文化資源を、自然変動や社会の変化の中で、記録と継承、再構築という視点から総合的に捉えるという、重要であるが、今までの歴史的蓄積も十分でない領域で、意欲的に取り組まれている。ともすると統合性が見えにくい研究プロジェクトであるが、5つのユニットの研究がそれぞれ関係を持ち、実践的にも連携しながら、統合性を持った形で展開している。その内容は、国際シンポジウムを通じたアジアにおける連携につながっており、また、ブックレットの刊行という形で、地域社会にも研究成果を還元しつつ、研究を実践的にも理念的にも意味ある形で展開していることは重要である。また、教育普及の面では、鹿児島大学、特に奄美サテライトで大きな成果を挙げつつあることも特筆される。

（特記事項）

特に、優れている点

- ・「研究成果・研究水準」について、統合性が見えにくい研究プロジェクトにおいて、自然変動や社会変動の中で地域文化がどう再構築され、記録、継承されていくのかという観点から、5つのユニットの研究が連携を持つとともに、実践性という点から、十分な成果が得られている。また、その内容は、国際的な連携がなされ、また、地域社会に対しても研究成果を還元するという、実践性を持った形で展開していることは特記されるべき重要性がある。